

## 特別調査 「2016年(平成28年)の経営見通し」

問1. 貴社では、2016年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位: 件・%)

	1. 非常に良い	2. 良い	3. やや良い	4. 普通	5. やや悪い	6. 悪い	7. 非常に悪い
合計(構成比)	0.0	0.6	8.7	41.0	35.8	9.2	4.6
合計件数	0	1	15	71	62	16	8
製造	0	0	4	20	12	3	0
建設	0	0	3	15	19	5	0
卸売	0	0	2	2	2	0	1
小売	0	0	6	17	22	4	5
サービス	0	1	0	17	7	4	2

\*平成28年のわが国の景気見通しについては、「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答する割合が9.3%、「悪い」(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)が49.6%となった。「良い-悪い」△40.4と、1年前の調査(△72.2)と比べ、31.8ポイントの改善となった。わが国の景気に明るい見通しを持っていることが窺える。

問2. 貴社では、2016年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

(単位: 件・%)

	1. 非常に良い	2. 良い	3. やや良い	4. 普通	5. やや悪い	6. 悪い	7. 非常に悪い
合計(構成比)	0.0	0.6	9.2	45.1	29.5	12.7	2.9
合計件数	0	1	16	78	51	22	5
製造	0	1	6	19	6	7	0
建設	0	0	1	20	16	5	0
卸売	0	0	2	2	1	1	1
小売	0	0	4	23	19	5	3
サービス	0	0	3	14	9	4	1

\*平成28年の自社の業況見通しについては、「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答する割合が9.8%、「悪い」(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)が45.1%となった。「良い-悪い」は△35.3となり、1年前の調査(△62.3)に比べて、水面下ではあるが27.0ポイント改善した。

問3. 平成28年において貴社の売上額の伸び率は、平成27年に比べておよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

(複数回答) (単位: 件・%)

	1. 30%以上の増加	2. 20~29%の増加	3. 10~19%の増加	4. 10%未満の増加	5. 変わらない	6. 10%未満の減少	7. 10~19%の減少	8. 20~29%の減少	9. 30%以上の減少
合計(構成比)	1.7	0.6	4.6	12.7	39.9	25.4	9.8	4.0	1.2
合計件数	3	1	8	22	69	44	17	7	2
製造	0	0	5	5	12	13	3	1	0
建設	2	1	0	5	15	10	7	1	1
卸売	0	0	1	3	0	1	1	1	0
小売	0	0	1	4	28	13	4	3	1
サービス	1	0	1	5	14	7	2	1	0

\*平成28年の自社の売上額見通し(伸び率)を「増加-減少」で見ると、1年前の調査(△39.3)にくらべて18.5ポイント上昇の△20.8となり、明るい見通しとなっている。

問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

(複数回答) (単位: 件・%)

	1. すでに上向いている	2. 6か月以内	3. 1年後	4. 2年後	5. 3年後	6. 3年超	7. 業況改善の見通しは立たない
合計(構成比)	6.4	4.6	7.5	5.8	4.6	12.1	59.0
合計件数	11	8	13	10	8	21	102
製造	4	3	4	3	2	6	17
建設	4	2	6	3	0	8	19
卸売	1	1	0	0	0	0	5
小売	1	2	2	3	5	2	39
サービス	1	0	1	1	1	5	22

\*自社の業況が上向き転換点については、「すでに上向いている」とする回答割合が6.4%で、前年(4.1%)比2.3ポイント上昇した。また、「6ヶ月以内」や「1年後」とする比較的前向きな回答の割合は、1年前と比べ0.6ポイント上回るもほぼ横這いの水準。また、「業況改善の見通しは立たない」とする回答割合は59.0%で1年前の調査(52.6)同様、厳しさが窺える結果となった。

問5. 平成28年1月にマイナンバー制度が運用開始となりますが、貴社における同制度への対応度合いについて、1～4のなかから1つ選んでお答え下さい。また、マイナンバー制度対応への準備にあたって、誰と相談しながら進めてきましたか、また進めていくつもりですか。5～9の中から1つ選んでお答え下さい。

(複数回答) (単位: 件・%)

	( 対応度合い )				( 相談相手 )					
	1. 十分に対応できている	2. 対応できている	3. あまり対応できていない	4. まったく対応できていない	5. 取引金融機関	6. 国・自治体行政機関等	7. 弁護士・税理士・社労士等の専門家	8. システム業者	9. 自社で対応(相談しない)	0. わからない
合計(構成比)	6.4	30.1	41.0	22.5	11.0	15.0	26.0	3.5	25.4	19.1
合計件数	11	52	71	39	19	26	45	6	44	33
製造	5	12	11	12	5	6	10	1	11	7
建設	1	15	18	8	3	8	16	3	10	2
卸売	0	4	2	1	0	0	3	0	2	2
小売	4	10	30	10	7	7	10	2	13	15
サービス	1	11	10	8	4	5	6	0	8	7

\*平成28年1月から一部の行政手続きに利用されるマイナンバー制度に関連する対応状況については、「十分に対応できている」は6.4%、「対応できている」は30.1%にとどまった。対して、「あまり対応できていない」が41.0%、「まったく対応できていない」が22.5%となり、63.5%の企業で、十分な対応が出来ていないことが窺える。

### ～調査員のコメントから～

- 鉄工所では熟練技能者の退職により、製品製作の能率が下がり苦慮していた。(製造業)
- 木材の受注は、オリンピックや新幹線工事で増加が見られる。(製造業)
- イカ、秋サケ用木箱の受注が増加している。(製造業)
- 管内、牧場関係からの受注が増加している。(建設業)
- 自然災害の復旧工事などにより、土木工事の受注は増加した。(建設業)
- 薬局は、大手ドラッグストアへ顧客流出見られ処方せん売上も減少している。(小売業)
- こだわりの清酒、米飯の特約販売専門店として、全国から注文が入っている。(小売業)
- 時計、メガネ、宝石などの売上は、修理等が多く新品の動きは少ない。(小売業)
- エアコンの取り付けが増えてきている。(小売業)
- アポイ岳が世界ジオパークに認定され、宿泊客がやや増加してきた。(サービス業)
- 自動車整備工場は、冬を迎えタイヤ交換等で多忙となっている。(サービス業)
- ロードサービスでの売上が増加、苫小牧、札幌まで営業範囲は拡大。(サービス業)